

いわき民報

社報民きわい
社(第一八三番)地一町田市平
己克輝千 人務業信信
刊休日祭曜日但刊日
張五十一 一円 月一ヶ月定

石材販賣

才敷、価格は御照會を乞ふ
平市二丁目三五
平石材採掘株式
電話二〇〇二番
電話二〇〇八番

磐農の箱飼ひ活桑育

養蠶界に革命的新飼育法 見事に成功業界注目目的

磐城農学校では生徒の實習を兼湯中ちよつとつけて、生花のね養蠶業界に一大革命を齎らす際に行ふと同様の水揚げ法を施すべく去月十三日二十グラムの掃す、斯くすると桑葉は四壁水分の立をなすと共に新飼育法の研究ある間は生葉ある葉を保つので中である、新飼育法は箱飼ひ丁度桑園の中に蠶児を放し飼ひ活桑育と名付けてゐるが、右の如くと同様で、蠶児はいつかは蠶児を箱に入れて飼育箱の四壁新鮮な葉を食べることが出来、従壁には高さ五寸、厚さ二寸程度で養育がよく、收購も増すと土壁を作りこの壁に切り立ていふ狙ひのものであるが、生桑の新葉を桑の小枝を植付けると見返り物資の王座を占めるのである、桑の小枝の植付けに至つた今日、各方面から注視の當つては、切口を氏約百度の熱的となつてゐる

平市教員組合結成 来る十日磐女で結成大會

平市内の男女中等學校、國民學校、町役場に同町支部結成式を兼ね、青年學校の教職員三百十名を以て關係者懇談會を開催するに名を打つて一丸とした、平市教員組合は磐城高女の新妻久満夫氏を準備委員長として先般來平準備を急いでゐるが、全く整つたのでいよいよ来る十日午後一時半から磐城高女講堂に結成大會を開催するに決定した、尙當日は役員、執行委員等を選任の上、待遇改善問題を中心に要求事項等をも決議するが、組合長には新妻氏が推されるものとみられてゐる

三割の收購増確實 桑園への放飼ひと同様の理

右について同校では語る極めて簡単な方法であるが、たゞ注意を要することは壁地が水分を失ひ桑葉が枯れ始めた際は即時壁地に適度の水分を與へるか又は塗り直して再び新しい切りたての桑の小枝を植えることと蠶児が飽食し眠りにつた場合は必ず桑の

大道異變

平中 青二
開市と云ふのが世間堂々と開かれて繁昌する、今に「泥棒市」が日本にも出来るかも知れぬ。
汽車の網棚は重いリニツクで何時も壊れて落ちさうだ。棚の下に坐つてゐるのも「Sの

引揚聯盟植田支部

海外引揚者聯盟では六日植田支部の結成式を執り行ひ、金の山で、足の踏み場もなく身もちならぬ惨状を現出してゐるの悲境を乗り越して痛快。窓からの出入と同じで生きて行くためには、残念なことだが邪道も道となる。良心や美を愛する心をすり潰さぬやうな政治を、教育を、お互に研究して見ようではないか。

配給停止

妙な小名濱の示達
小名濱町では三日の町常會を通じて隣組へ、接岸地域に對する一

健保事業一時停止

國民健康保險問題は醫師側の無的決は近く召集される組合會で理解やら一般大衆の見解等々か定めておいてけりをつけた一時事業停止は昨年二月にも提案された問題であり解散とするは規上なか、難しい点もあるが、三意志賀町長就任後初の町常會に金澤組合議員から「組合事業一時停止の件」が提案され俄然論議的となつたが、結局解散必至論に落つたので、この總意を組合に反映させ最後

豊床付三十六疊寄贈

小澤専七郎氏罹災者へ
石城郡上野村出身の新進實業家小澤専七郎氏は本紙に依つて平市大田町の火災を知り、罹災者に心から同情を寄せ、同氏の經營する日本製糖株式の社員住宅としてゐた豊床付を一世帯六丁宛、罹災三六世帯分二百六十丁寄贈することに成り、左の如き書面を添へて平市へ發送の通知があつた、これを現在の價格一丁百五拾圓に評價すると三萬二千圓の多額に上り、それでも現物が容易に入手出来ない際だけに市當局は非常に喜び、家を所有せぬ同居人とか、建築着手の有無など考慮して特別配給する計書を急いでゐる。
小澤氏は勿來町に日産十トン

野菜集荷所を設置

出廻り促進に打つた市の妙案？
不足勝ちな野菜の出廻りを促進するため平市農業會では第二國民學校々庭の東北隅に約六十坪の野菜集荷所を設けることになつた、これが出来るかと平野方面から出荷された野菜は一旦同所に集り市側の配給面と睨み合せて計画的に配分されることになる譯で大いに期待されてゐる

小笠原所長 本社へ榮轉

後任は伊藤文健氏
好間村古河炭礦好間鑛業所長小笠原政美氏は今回本社誌となり、後任所長は栃木縣足尾町の足尾製作所所長伊藤文健氏と一日決定した

引揚者に 罐詰配給

近日引揚者には
左記罐詰類の配給を行ふ
人じん水煮(七五〇五入)十二ケ、ロースビーフ(八五〇五入)

外科専門 諸橋鐵彌

開業御挨拶
前署 私儀今般復員後歸郷左記に於て診療に従事致可候に付き倍舊の御支援賜り度願上候、不取敢に紙上御挨拶迄如斯候
昭和二十一年六月
平市 鎌田町
金成醫院

近火御見舞御禮

去る五月二十日火災の際には御禮儀な御見舞を賜り早速御禮申上可慮御辱名洩れも有之に紙上厚く御禮申上ます
平市町紅小路
吉田結髪店

いわき方言

小名濱町常會が町の健康保險組合の事業を一時停止するやう申合せた、組合の正式決議に俟たねばならぬが、實現しやうである、健康保險問題は小名濱町だけでなく殆んど各町村の問題になつてゐるやうである、原因が奈邊にあるか縣當局も充分検討の上善處すべきであらう、上野村出身の小澤専七郎氏が平市過般の火災で罹災した人々へ二百六十丁寄附した来た、未だ到着しない爲配給に至つてゐないが、金より物が有難い今日、復興建築する者にとつては早天に慈雨の福音である

花柳舞踊團 感謝状を

海外引揚同
胞磐城聯盟
ではさきに平市中で開催した基金募集の舞踊の會に援助出した基金花柳舞踊團の率ゆる舞踊團に五百圓の謝禮を贈つたところを、つくりそのま同聯盟へ寄附されたのに感激、幹部會の結果五日聯盟の名のもとに感謝状を贈ることになつた

葡萄酒も見返り品に

耳寄りな中国からの注文

日増しに深刻化する食糧危機の突破に際し、殊に葡萄酒も大きな役割を荷なふことになった。即ち重慶政府では日本に於いて葡萄酒を提供するならば食糧を救済すべしとの通告を寄せて来た。これを知った日本アンソール東北工場(平市五丁目)では中外製菓とタイアップして月産三百萬個の生産力をあげてこれが製造を實施すると共に最新式特殊装置による月産二百五十萬個を指す第二工場を南町に新設、更らに七丁目資本金五十萬圓で大塚駒太郎氏を社長に姉妹工場として大塚アンソール工場を建設して、現下の食糧難救済に一粒でも多くの米の獲得のため精進することに決定したが耳寄りな情報として市民から期待されてゐる。

空俵の回収に拍車

山に眠るバラ木炭一萬余俵

木炭の緊急輸送は目標突破の好成績をあげたにも拘らず、現在もなほ空俵や繩その他の資材不足から撤出し得ず山に眠るバラ木炭が計一萬俵、川前に四十七百俵、澤渡三阪に千俵からあるので、平地区配給統制組合燃料部では空俵の回収に拍車をかけることに決定、市民の協力を要請してゐる。尚空俵は一俵十錢で配給所消費者が持参した場合は十錢の足代を加へ二十錢で引取ることになつてゐる。

民主聯盟で支部設置

内郷外六箇所へ書記局をも構成

警署民主人民聯盟では一日午後一時から平市田邊製作所樓上に常任委員会を開き、さきの結成大會で設置を決定した書記局の構成メンバーを人選後、健全な發達を期するために、
内郷、湯本、菊田、小名濱、好間、四倉、久之瀧、小川、赤井
以上の七支部を設置、各支部に左の如く連絡責任者を置くことに決定した。
▽書記局 大内近雄、日野利春、三森虎雄、清野庄十郎、

伝染病豫防 衛生協議會

六日平保健所に梅雨期を控へ集團的傳染病發生の豫防に平保健所では六日午前九時より全所樓上に各工場、商店衛生主任、衛生担当者、各診療所醫師を集めて下水汚濁防疫衛生班の設置、再種痘の方法、集團的傳染病の對策、簡易水道等の検査、飯場の衛生施設、飲料水の検査等の事項に就き對策を協議する。

煙草收納は目標確實

賠償引上等に減反も影響せず

來年こそ煙草不足を緩和して愛煙家をなぐさめようとするところ、反つて約九割歩と減反となつてゐるが、昨年は空襲下に加へ、労働力と肥料不足といふ悪條件で顧られず、反當値が六十九キに過ぎず不成績だつた。今年には作付地の減反はあつて



再燃

木屋次男

あれから五年のときも経つた。つかり息を吐きつてゐる、ある機会に——
私が中学生の頃ある娘さんにでくるとやうな気がした。余りに送つた戀文をその娘自身から視てみると、五年経たずして私の青春の再燃の古傷がある瞬間的の衝動に私の狼狽振りやなんの屈託もなかつた！破れて痛々しくも鮮やかに噴き出す血肉を目撃させられたやうな感じがした。用紙一杯に躍るやうに羅列されたまづ文字、漢文句調が富んで幼稚な文体、吟嘆と形容にのみ氣を感ずる流弊である。と私の成長した自我は私につぶやいた。
まともでない思想内容にも愛想をつかしたり。とにかく私も今の私に比べて随分と若かつたなあとしみ、思へた。
私は私の過去の青春生活をバツサリ横面に斬り投げて露出し、た生々しい傷口に煙づりでもした時々のやうな深切に慕はしいあざやかな生命の息吹きに胸が高鳴り荒れくれた明け暮れ、故に私に枯渇してしまつてゐた私の心の泉もいつしか涸れ、潤されてゆくやうな満々しい生命

平市も俸給繰上げ支給

苦しいサラリマンの生計を少しでも楽になるやうに

従来二十一日の支拂であつた俸給を今日繰上げて市立の女子商業學校教職員と市吏員に支給。今月からは上半期の賞與があるのでも繰り上げることにした。

衛生講演會

湯本ウラ町 青柳

一時預品、金銀
湯本ウラ町 青柳

宮川上流砂防工事

内郷町多年の悩みの種である宮川上流の砂防工事につき加美山町土木課長の就任以來水道計及砂防計と共にと鋭意調査準備中だつたが、四月來縣土木課測量員の來町を求め、實地測量を開始した。

内郷の公葬

五日二十一柱の

内郷町では来る五日午後一時から淺野記念館で左記二十一柱の公葬を執行した。
陸軍中尉山崎重雄 伍長高橋勝雄 兵長渡邊好 那須勇男 古川存市 鈴木一郎 北野正明 上等兵三部金治 佐藤常一 齋藤徳治 陸軍軍醫大吹實一 日向寺今朝吉 東海林弘 伊長幸雄 海軍中尉若松清 兵曹長庄司福夫 上等兵曹高橋正美 二等兵曹 佐々木一美 上等兵高橋武雄 海軍軍醫遠藤吉三郎 小林正好

平俳句會

同人句抄

松本 菊朗
春風や招かれて行く嶺山繁
木母の花震はせて山の雨
峰にゆれ風にたゆたふ藤の花
中根 昔巳
かはりに古里遠き思ひかな
セルを著ていさ、かやつれ見
えにけり
鯉分敷場の屋根越しに
高木扇要子
籠三つ並んで遠く草刈れる
草刈の青窓下針はこぶ
山裾の田打姉妹に郭公啼く
鈴木 紅果
海霧のなか、去らずけんげ
刈る
水紅くゆぶぐれてゐる花菖蒲
雲去つて強き目ざしや桐の花
大久保東州
松輝の聲たゞ一つ日は西に
本降りとならずも舞れば桐の花
遠藤秋則子
いさかひのつきほの切れて蠅
を打つ
花祭り子等の起居のよそよそ
不自由な生活に慣れて古すだ
れ
猪狩 哲朗
金の電線にか、はりなかりし
晴とれて浦の祭の近づけり
坂本 冬洲
隙子しめ奥の茶庭ほの匂ふ
中根 力男
湯殿へと蛙の音を十歩ほど
縮引 欣吾
芍薬の香に苗床のつゞまれて
川崎古塔里
葉櫻に夕陽の橘のいづれも
花杉のひまに五六戸夕けぶり
渡邊 何鳴
一八や名も古湯てふ大藏家
はつたつや制服の襟純白に
卓上やグラチオラスの盞の白

オアシス句會

河鹿

木石
夕暮れて里の燈火や河鹿鳴く
峻 峰
溪流の岩かけ戯む河鹿かな
凌 雲
たそがれに河鹿の聲や里戀し
秋 水
そら踏む河鹿の聲や温泉の
灯
森の風
水清く石のあひだに河鹿なく

セメント瓦

製造注文に應じます

五馬力粉砕混合機あり
古いカタマリセメント
御持下し交換致します
大浦村上井仁田
(四倉驛ヨリ約七丁)

大谷建材店

大谷 文夫

御注文、御一報下さい
係員 參上シマス

製作設計修理

湯本町驛前

タモツ工作所
電二二六番

事務所新築移轉

合名 吉田恭平商店代表社員
常磐製粉工業株式會社
常磐電氣工業株式會社
取締役社長 吉田恭平

營業種目

- ▽ 礦山機械
- ▽ 製材機
- ▽ 蒸氣溶接
- ▽ 自動車發生爐
- ▽ 船舶機器

事務所新築移轉

合名 吉田恭平商店代表社員
常磐製粉工業株式會社
常磐電氣工業株式會社
取締役社長 吉田恭平

製作設計修理

湯本町驛前
タモツ工作所
電二二六番